



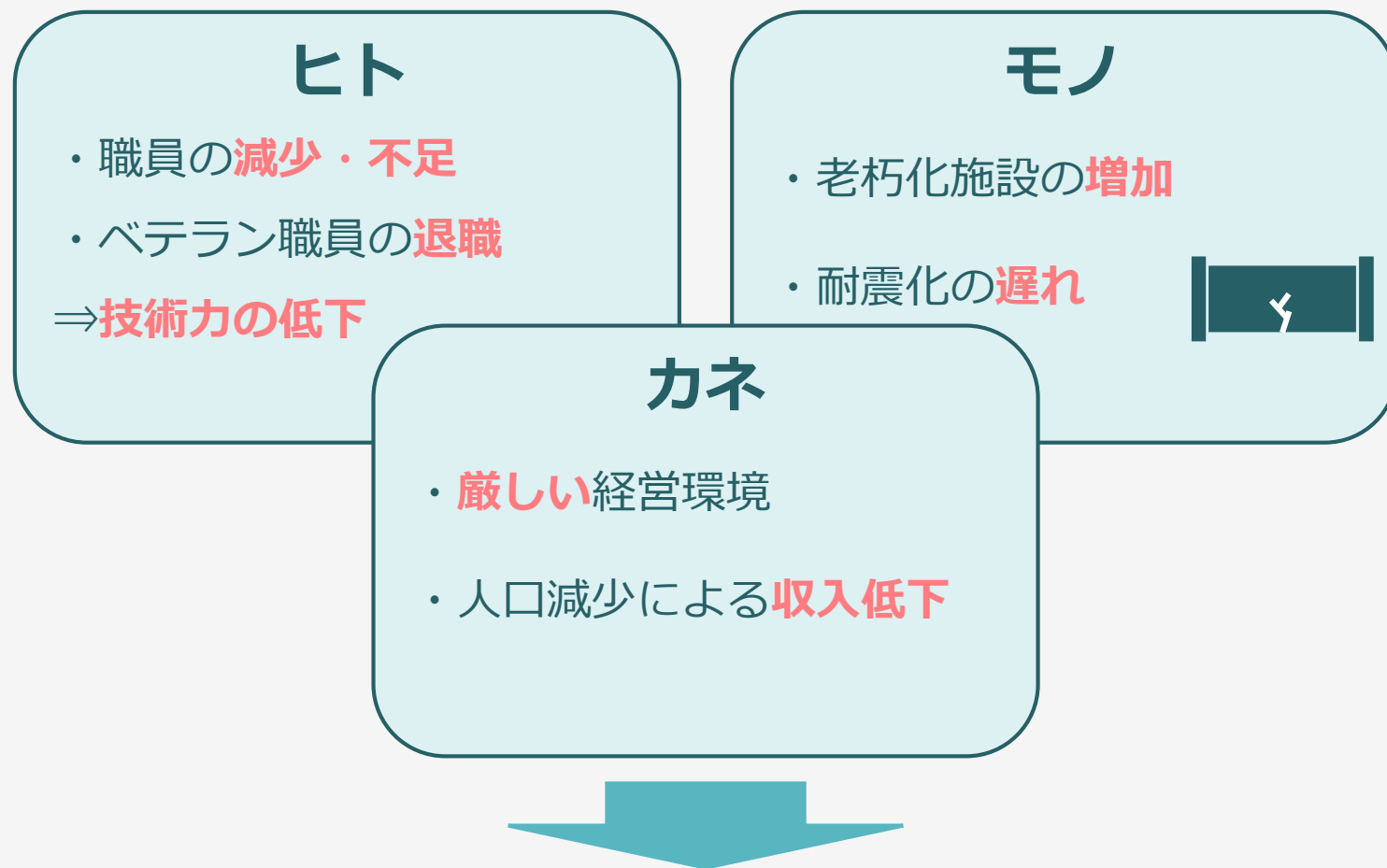
春日部市上下水道事業 「水の官民連携」に関する勉強会

令和8年7月10日
春日部市上下水道部

目次

- 1 今、地域インフラに何が起きている？
- 2 「水の官民連携」とは？
- 3 「水の官民連携」で仕事はどう変わる？
- 4 「水の官民連携」における地元企業の役割は？
- 5 他自治体での実施事例
- 6 今後のスケジュール
- 7 アンケート調査のお願い

1 今、地域インフラに何が起きている？

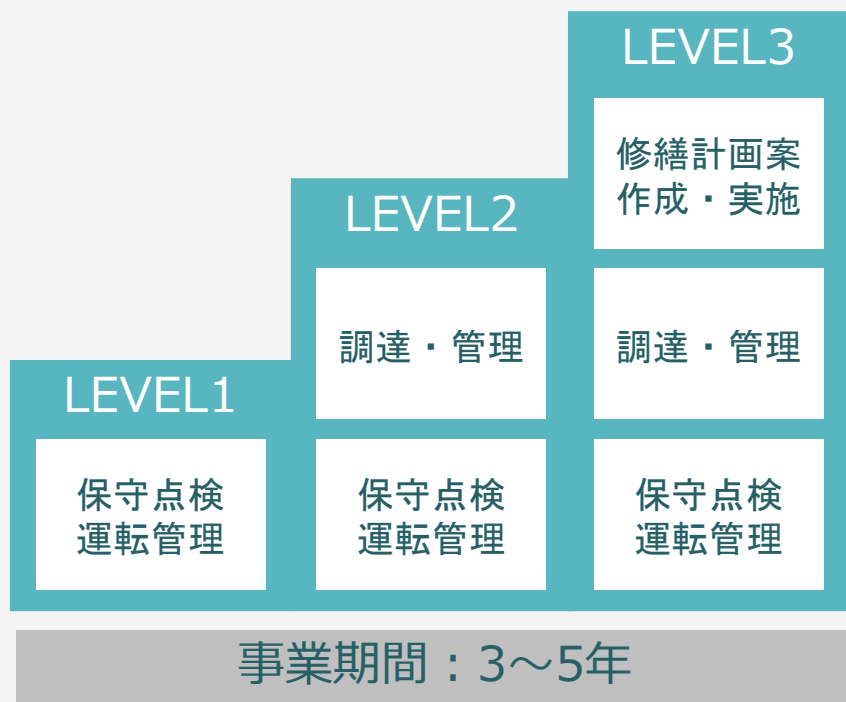


ヒト・モノ・カネの問題
⇒自治体がインフラを守っていくには限界が...

2 「水の官民連携」とは？

① どんな仕組みなのか？

官民が協力して上下水道を守る、
新たな官民連携の形態



従来の包括的民間委託



「水の官民連携」

2 「水の官民連携」とは？

②なぜ「水の官民連携」が必要なのか？

理由①

老朽化施設の急増…

- 水道事業では、管路施設の**4割以上が耐用年数超過**
- 全国では**年間2万件を超える漏水・破裂事故**が発生
- 下水道事業も、污水管が**敷設から50年近く経過**
- 令和7年八潮市では、**管の老朽化に起因する陥没事故**が発生



理由②

上下水道事業の運営負担が増加！

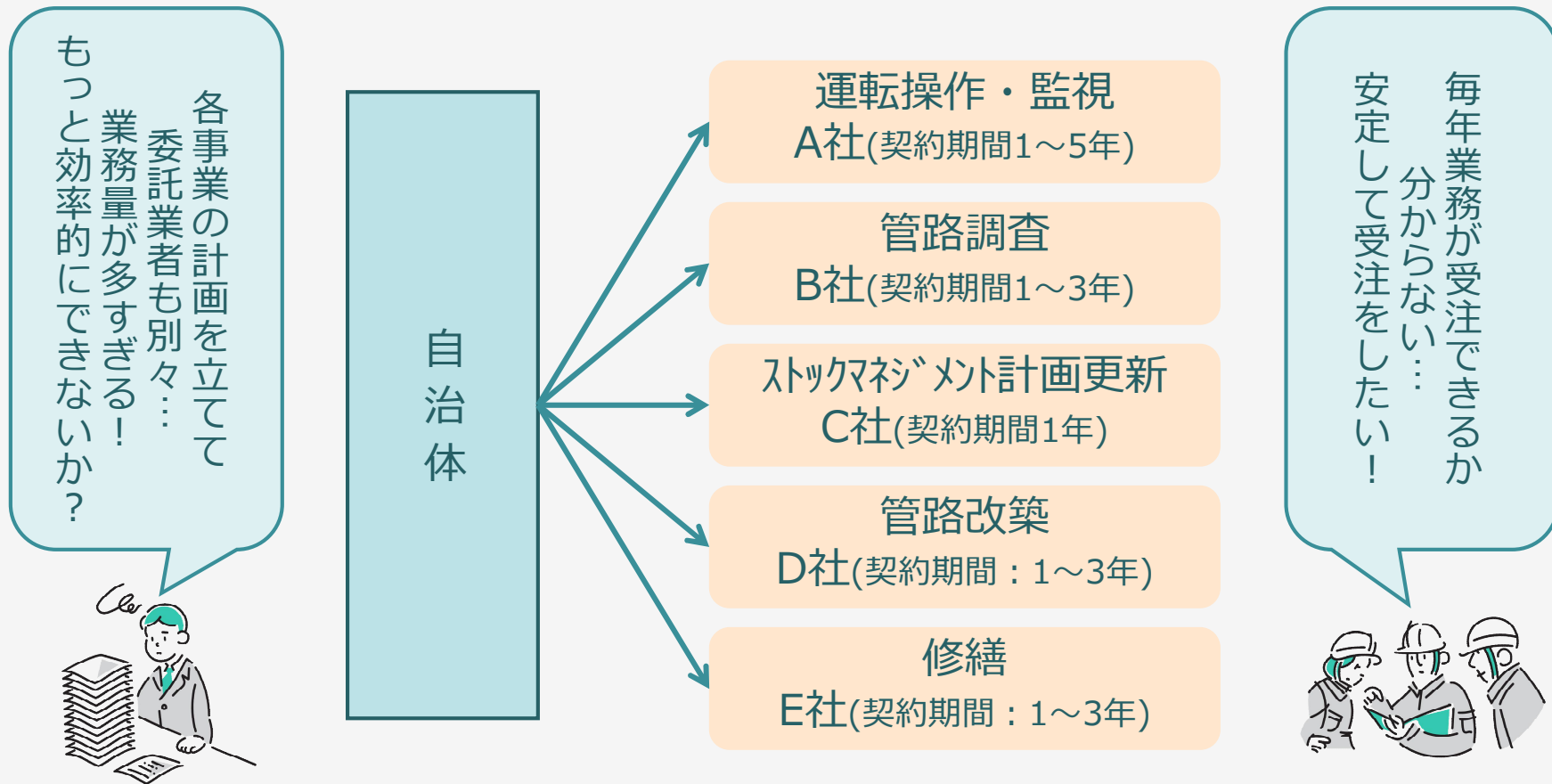
- 更新が必要な施設・管路の増加に伴い、業務量が増加していく中で**適正な人員確保が必要**
- 更新工事に対応できる**人員の確保・技術力の継承が必要**



水インフラの存続のために、
「水の官民連携」の可能性を検討する

3 「水の官民連携」で仕事はどう変わる？

①従来の業務形態 ～個別発注～

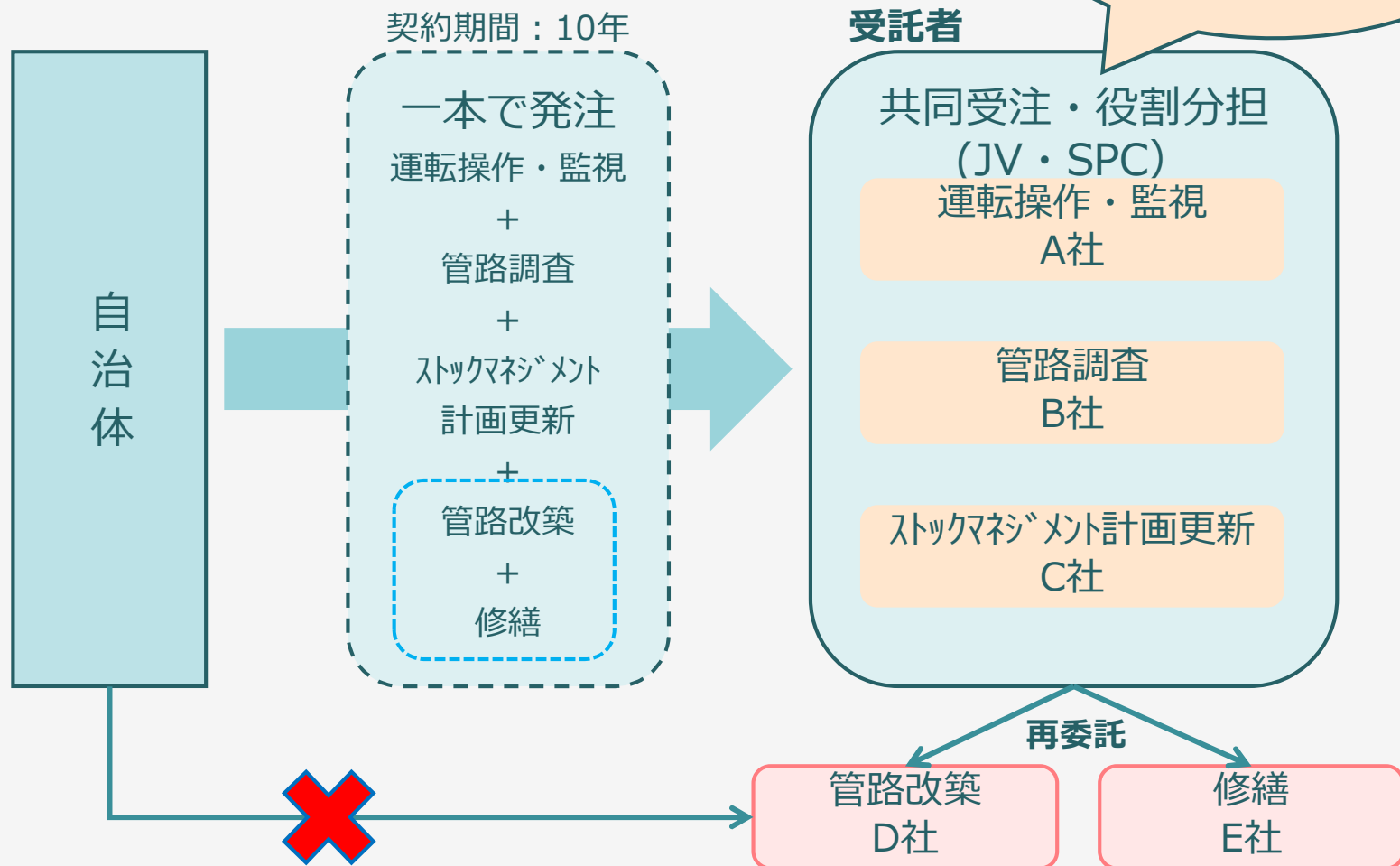


自治体：業務量が年々増えている
民間：安定して業務の受注をしたい

3 「水の官民連携」で仕事はどう変わる？

②これからの業務形態 ～「水の官民連携」～

レベル3.5「更新実施型」の例



SPC(特別目的会社)とは
PPP/PFI実施のために
複数の民間企業が出資して
設立する専用の事業会社

「水の官民連携」に含めた業務は
自治体からではなく、受託者からの再委託

3 「水の官民連携」で仕事はどう変わる？

③ 「レベル3.5（管理・更新一体マネジメント方式）」の4要件

- レベル3.5は、①長期契約（原則10年）、②性能発注、③維持管理と更新の一体マネジメント、④プロフィットシェアの4要件を全て充足する必要がある

1



長期契約
(原則10年)

長期の事業期間により
民間事業者の参画意欲を
促進
安定した雇用や人材育成
に貢献

2



性能発注

民間のノウハウ・創意工夫
が発揮しやすいよう満たす
べきサービス水準を定め
発注

3



維持管理と更新の
一体マネジメント

「更新実施型」
維持管理と更新(改築)
工事を一体的に実施する
「更新支援型」
維持管理と更新計画案の
策定により更新を支援する

4



プロフィットシェア

事業開始後も民間事業
者によるライフサイクルコスト
縮減の提案を促進

④「レベル3.5（管理・更新一体マネジメント方式）」イメージ

< 従来 >

- ・薬品投入量
1Lあたり●mgで注入
- ・水質検査
毎週●曜日●時に実施すること

＜水の官民連携＞

- ・給水区域末端の
残留塩素濃度を
●mg/L～●mg/Lに
収めること

事業開始

1

3

5

7

10

年目

点検・調査

更新計画案
作成

更新（改築）業務

維持管理業務

新技術導入等の 創意工夫

⇒ **コスト削減分**
⇒ プロフィットシェア

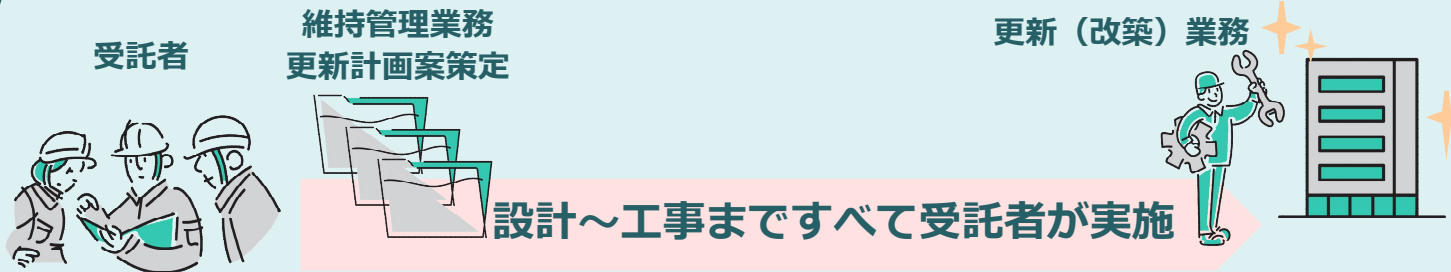
維持管理費等

維持管理と更新の複数業務を1つの事業として10年間行う
性能発注により、業務遂行方法については創意工夫を発揮できる
工夫して削減した分の費用は官民でシェアする仕組みもある！

3 「水の官民連携」で仕事はどう変わる？

⑤ 「更新実施型」と「更新支援型」のイメージ

更新実施型



更新支援型



LEVEL3.5

更新（改築）
（更新実施型）

更新計画案作成
（更新支援型）

修繕計画案
作成・実施

調達・管理

保守点検
運転管理

「更新実施型」：計画段階から施工まで受託者に一括で委託

「更新支援型」：受託者は計画段階まで。発注は自治体が行う

4

「水の官民連携」における地元企業の役割は？

①「水の官民連携」の気がかりな点

地元企業

不安①

一企業では対応ができない、他分野企業との協業も必要
大手企業や他分野企業との連携に不安がある…

不安②

これまでの業務が発注されなくなって、10年に一度の発注
仕事がなくなってしまうのでは…？

しかし・・・

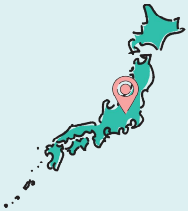
「水の官民連携」を支えるのは地元企業！

「水の官民連携」における地元企業の役割は？

②地元企業の強み

- 受託者となる場合には、**自らの「強み」を生かすことを期待**
- 地元企業は地域に根差し、担当業務の専門人材を有していることが「強み」の一つ

①



地域密着

- これまでの業務実績、経験に基づくノウハウを活かせる
- これを支える人材を保有

②



独自性

- 地域性を十分に把握した上で展開される、最適化された業務手法

③



俊敏性

- 最終判断者が地域に所在
- 経験、地理的条件から対応も迅速

④



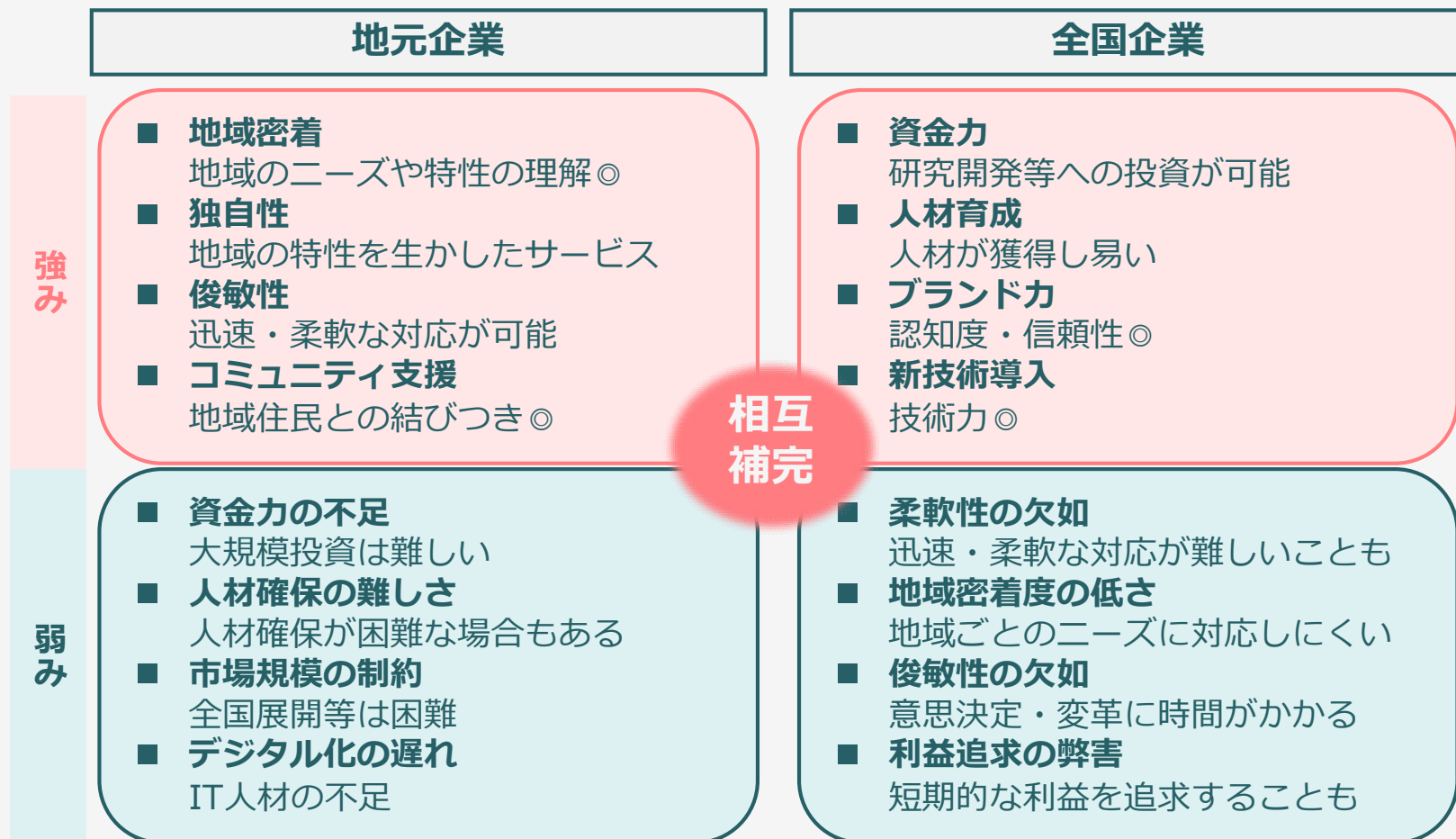
コミュニティ支援

- 地元企業として地域社会への参画
- 地域雇用の維持、創出

「水の官民連携」における地元企業の役割は？

③地元企業・全国企業の特徴を踏まえた役割

- 地元企業と全国企業には、それぞれ異なる強みと弱みが存在
- 受託者となる場合には、それぞれの強みを生かす形で構成



4

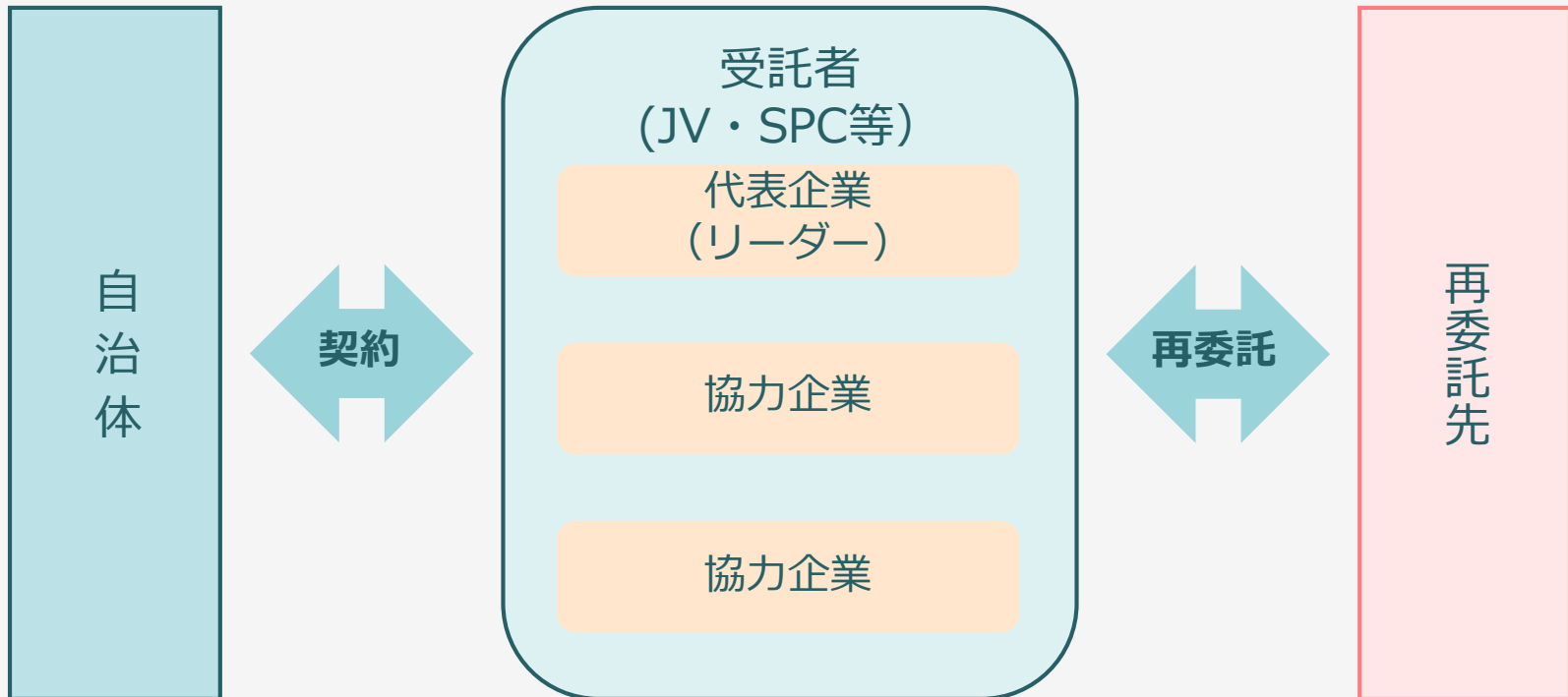
「水の官民連携」における地元企業の役割は？

④事業体制イメージ

【地域要件の設定】

契約内容に以下のような内容を含めることで地元企業の参画を促している自治体もある。

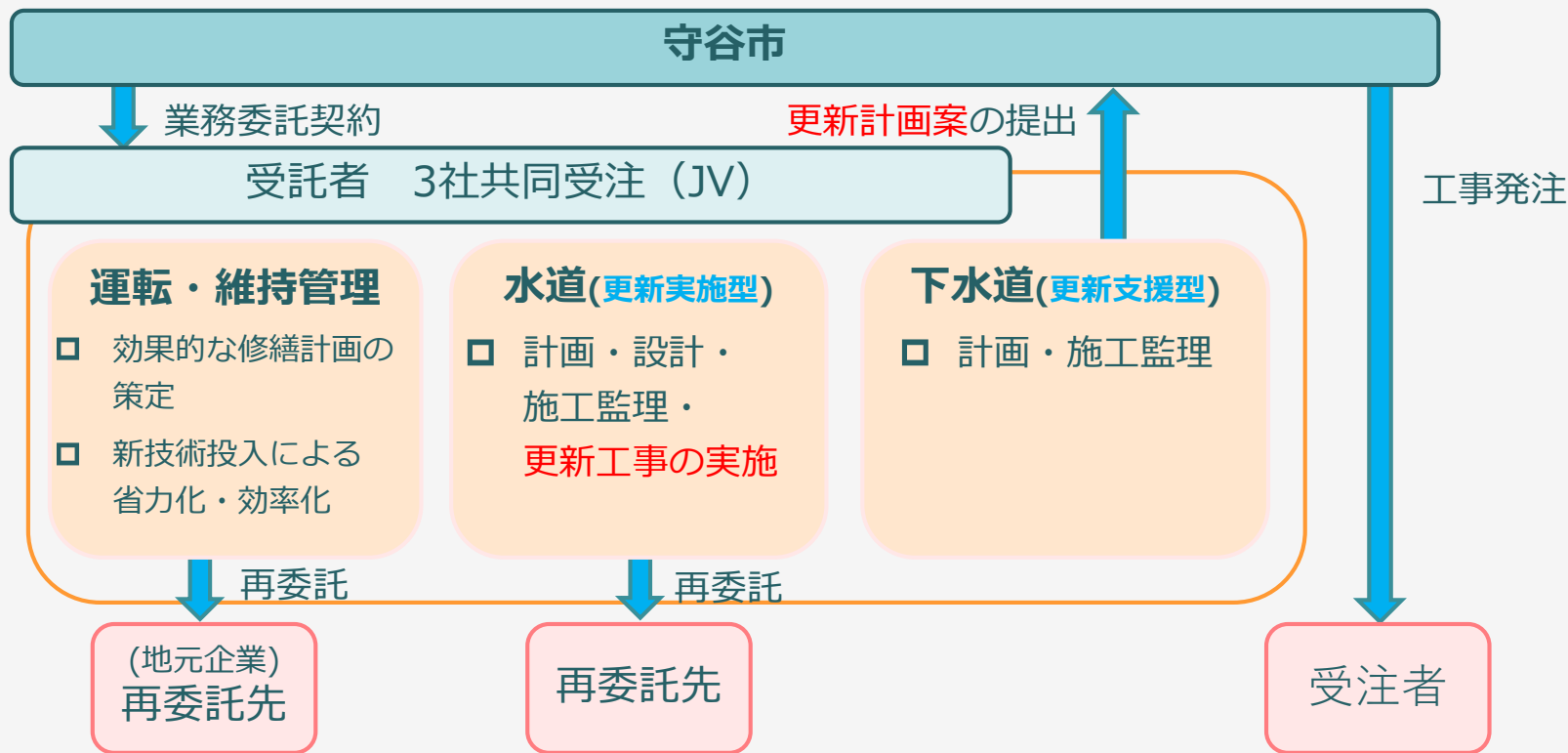
- ・ 再委託については極力地元企業を活用すること
- ・ 協力企業のうち1社は本店所在地が同市内であること など



地元企業は受託者・再委託先の
いずれの役割でも参画可能！

守谷市上下水道施設管理包括業務委託　－管理・更新一体マネジメント方式－

- ## 实施体制

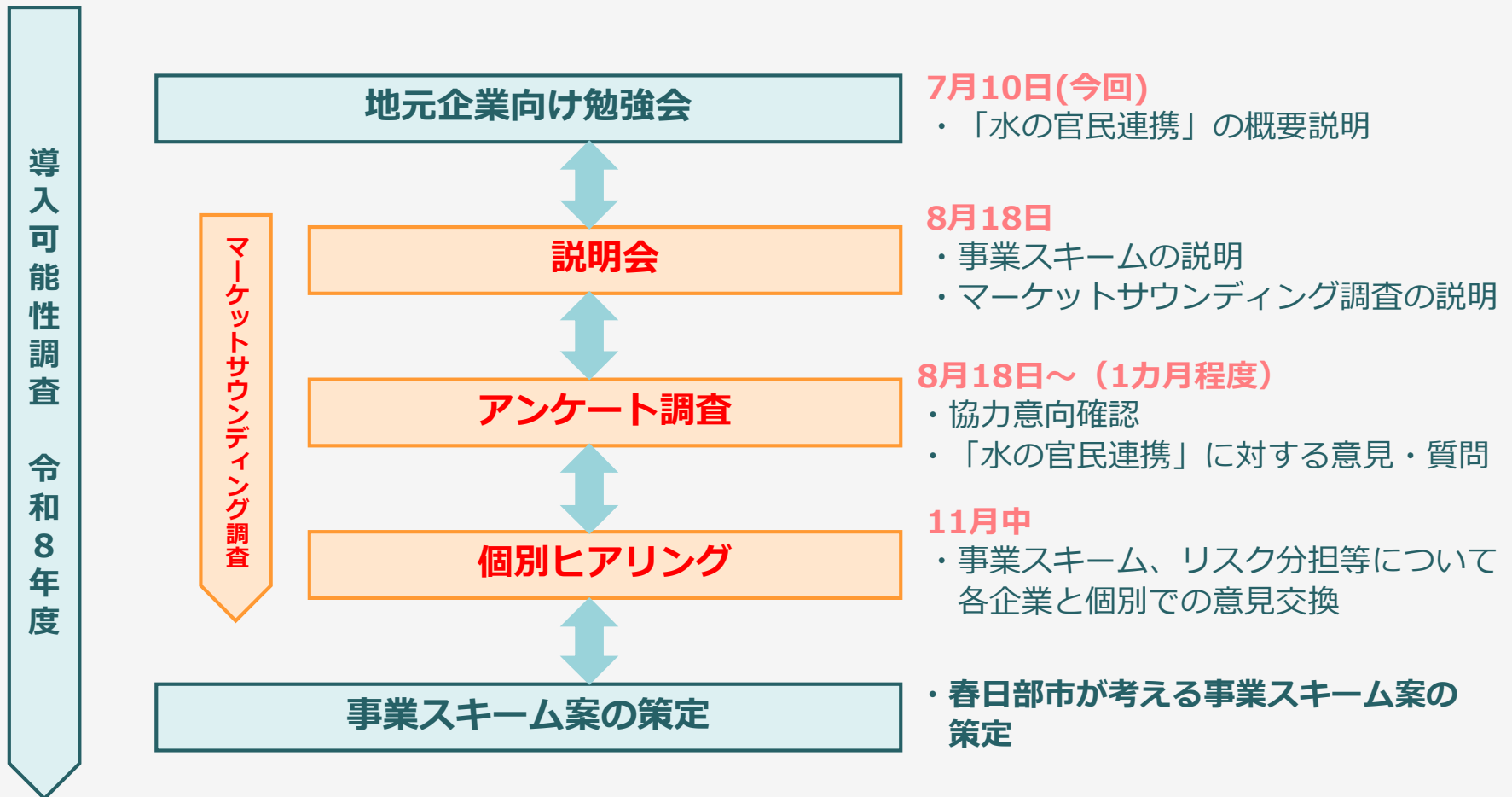


6

今後のスケジュール

①マーケットサウンディング調査のスケジュール

- 「水の官民連携」の導入調査にあたって、民間事業者に対してアンケートやヒアリング等の調査を実施し、参入意向の確認を行います。



6 今後のスケジュール

②マーケットサウンディング調査の概要

アンケート調査（8月18日）

【対象】

- ・春日部市業務の実績がある企業
- ・官民連携事業に関心のある企業

【調査内容】

- ・「水の官民連携」の理解度
- ・「水の官民連携」の参入実績
- ・参入意欲について
- ・対象範囲・施設等へのご意見
- ・「水の官民連携」4要件へのご意見
- ・その他の要望等



個別ヒアリング（11月中）

【対象】

- ・アンケート調査で参入意向・関心のある民間企業

【調査内容】

- ・対応可能な業務
- ・参入にあたっての懸念点
- ・その他の要望等

【実施方法】

- ・Web会議もしくは対面で実施



マーケットサウンディングの結果を参考に、
対象施設・業務範囲、4要件の内容、リスク分担等の検討を実施する

7 アンケート調査のご依頼

① 本日の勉強会内容についてのアンケート依頼

- 本日の勉強会の内容について、アンケートへの回答をお願いいたします。
いただいた回答内容は、次回の説明会、アンケート調査に活用いたします。

② マーケットサウンディング調査への協力依頼

- 本市の上下水道事業において、「水の官民連携」の導入可能性調査にあたり、「水の官民連携」の概要をご理解いただくと共に、民間業者のみなさまからご意見をいただきながら、最適な事業実施体制を検討してまいります。
つきましては、**マーケットサウンディング調査へのご協力をお願いいたします。**

【次回の説明会】

日時：令和8年8月18日(火)

13:30受付 14:00開始 15:00終了予定

場所：春日部市教育センター 2階 視聴覚ホール

■ お問い合わせ先 ■

〒344-8577

春日部市中央七丁目2番地1 第2庁舎1階

上下水道部 工務課 工務担当

TEL：048-739-6824